

○ 計画の基本的事項

【計画期間】平成23年度～平成32年度
【基準年度】平成2年度

○ 温室効果ガス排出量の実績と課題

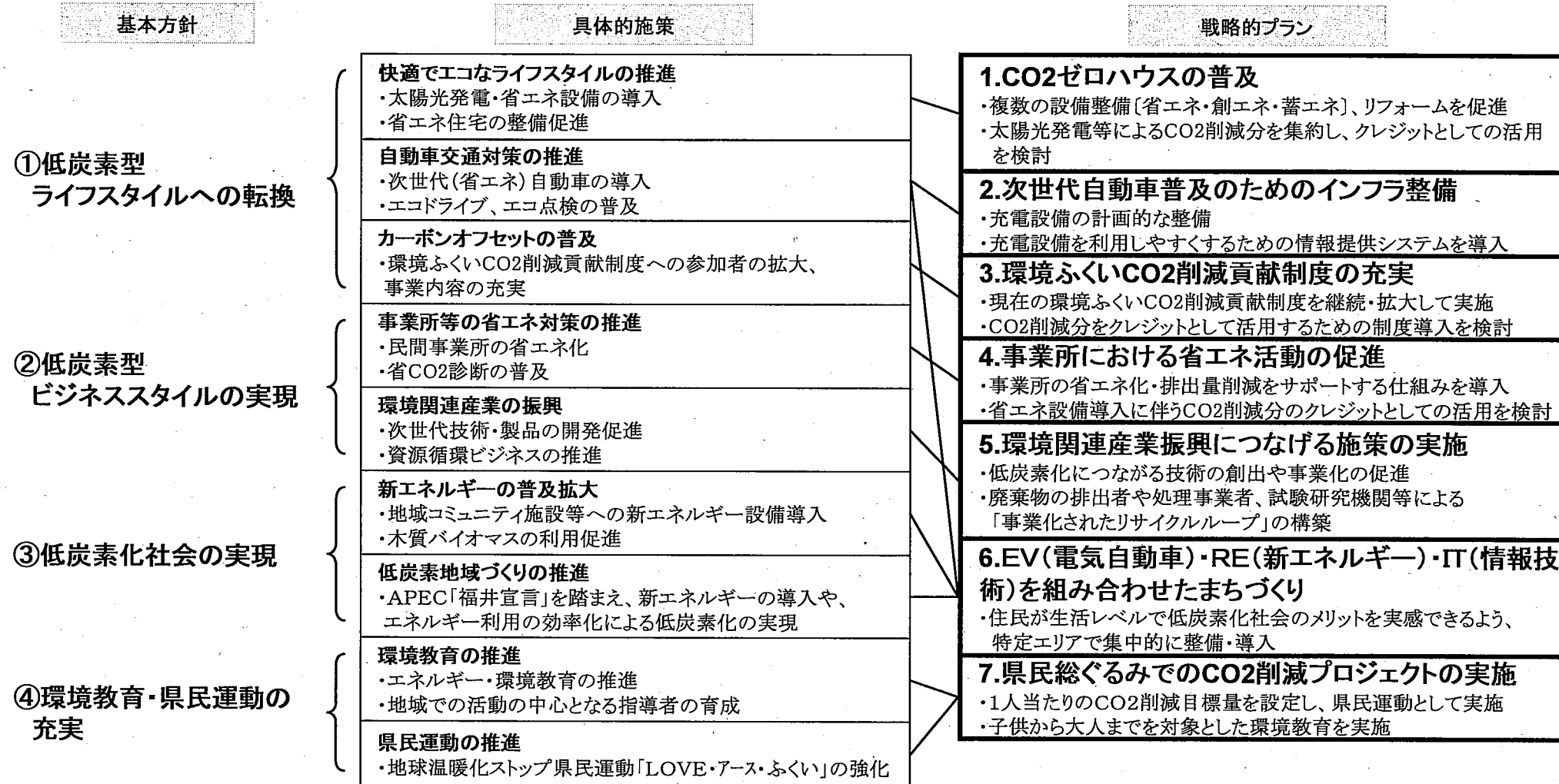
実績(平成20年度)

【排出量】871万3千トン
平成2年度比で1.3%減少
※現計画の目標
平成22年度で3.0%削減

課題

- 産業[排出割合:40.1%]
増加率(H2→H20):△15.4%
⇒排出量取引制度等を踏まえた対応が必要
⇒環境と経済の両立
- 運輸[排出割合:19.6%]
増加率(H2→H20):+14.9%
⇒次世代自動車の導入、エコドライブの推進、自動車利用の抑制
- 家庭[排出割合:13.3%]
増加率(H2→H20):+28.6%
⇒節電等の省エネ活動の推進、省エネ・新エネ設備等の普及
- 業務[排出割合:13.2%]
増加率(H2→H20):+58.0%
⇒省エネ・新エネ設備等の普及
- 新エネルギー
普及率が低い。住宅用太陽光発電1.29%
⇒新エネルギーの導入促進
⇒APEC福井宣言を踏まえた低炭素地域づくり
- 国の基本的施策
⇒削減目標を規定した法案が未成立
⇒国内排出量取引、環境税等の内容が未定
- 原子力発電
⇒国の排出量削減に貢献している原子力発電への評価
- 環境教育
家庭・運輸部門など、県民生活に密接した部門の排出量が増加
⇒県民運動の展開、指導者の育成

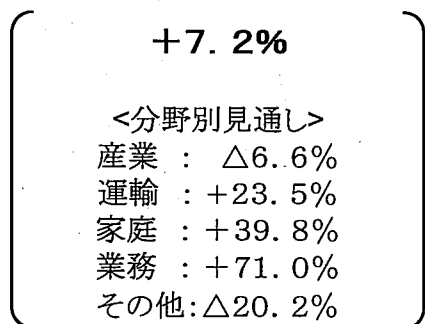
○ 温室効果ガスの排出削減に向けて(県の施策)



○ 温室効果ガス排出量(試算)

(平成2年度 → 平成32年度)

- 国が温室効果ガス排出量推計に用いたマクロレーム等を参考にして、排出量を試算
- 試算値のため、数値の変動がありうる。



○ 温室効果ガス排出量の削減目標